

## 候補物質の選定に関する作業状況

### 1. 対象物質の選定フロー

現行化管法対象物質の選定基準に則り、具体的な選定のフローとして以下の方法が考えられる。

#### ① 追加候補物質の選定（物質マスターの作成）

現行化管法対象物質に加え、国内外の化学物質に関する関連法令や調査結果に基づき、化管法対象物質として追加される可能性がある候補物質を抽出する（以降、抽出した候補物質を「物質マスター」という）。

#### ② 暴露情報に基づく物質の絞込み

物質マスターから、エコ調査、公共用水域水質測定、有害大気汚染物質モニタリング調査、製造・輸入量、PRTR 制度の届出・推計結果に基づき、現行の化管法対象物質の選定基準に合致した物質を抽出する。

#### ③ 有害性情報に基づく物質の絞込み

②の抽出結果から、最新の情報源において、物質選定の判断基準に合致する有害性データが得られた物質を抽出する。

図. 化管法対象物質の選定フロー

化管法対象物質の候補となりうる化学物質として、現行化管法対象物質435物質<sup>※</sup>と、以下の物質を対象物質総括表として整理（原則として平成18年末現在の物質数、重複あり）。

①有害性の観点から現行基準に合致すると考えられる物質（環境省調査結果等）737物質+811物質

②各種法令やその他各種調査結果からの候補物質

1) 化審法

第一種特定化学物質	15物質
第二種特定化学物質	23物質 <sup>※</sup>
第一種監視化学物質	25物質
第二種監視化学物質	857物質
第三種監視化学物質	51物質

2) 毒劇物取締法 473物質<sup>※</sup>

3) 労働安全衛生法（通知対象物質） 640物質<sup>※</sup>

4) ロッテルダム条約（PIC）対象物質 39物質<sup>※</sup>

5) 農薬取締法登録農薬 461物質

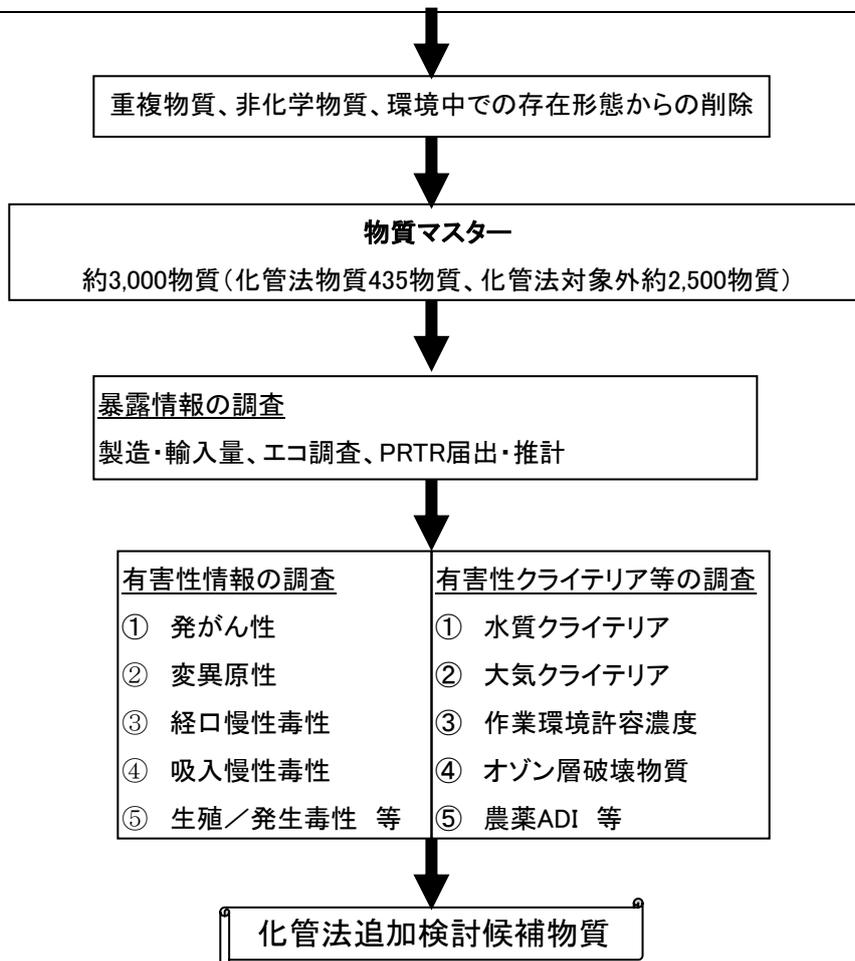
6) 自治体条例対象物質 111物質

7) 諸外国によるPRTR対象物質 728物質

8) 現行化管法対象物質の代替物質（環境省調査結果） 85物質

9) 内分泌かく乱作用を有することが推察される物質 4物質

注：※はGHS3省分類に含まれるものを示す



## 2. 選定の作業状況

### 2-1. 現行化管法対象物質からの削除候補物質の検討

表 1、2 に現行化管法対象物質の暴露情報及び初期リスク評価結果を整理したものを示す。暴露情報として、製造・輸入量（現行化管法対象物質を選定した際の化学物質の製造・輸入量調査に準じる調査に基づく）、PRTR 届出・推計結果（平成 13 年度～17 年度）及びエコ調査結果（直近の 10 年間（平成 8～17 年度）のデータ）を示した。

現行化管法対象物質のうち、354 物質について、製造・輸入量がゼロ、エコ調査で未検出、PRTR 届出・推計量がゼロという 3 条件をすべて満たしているものが 5 物質判明した（表 3）。これらについては化管法対象物質から削除する方向で検討する。

このほか、以下の物質については、削除候補物質とすることも可能（物質数には重複あり）。

#### 【現行化管法対象物質のうち 354 物質について】

- PRTR 届出排出・移動量ゼロ 22 物質（表 4）
- PRTR 届出排出・移動量かつ推計量ゼロ 10 物質（表 4）

#### 【現行化管法対象物質すべて（435 物質）について】

- 製造・輸入量ゼロまたは 1 トン/年未満 62 物質
- 製造・輸入量不明 8 物質
- エコ調査で過去 10 年間（平成 8～17 年度）測定を行い、検出下限未満 35 物質
- 環境省初期リスク評価結果において低リスク物質 24 物質
- NEDO 初期リスク評価結果において低リスク物質 62 物質

### 2-2. 化管法対象物質への追加候補物質の検討

物質マスターに整理された化管法対象物質の候補となりうる物質として約 3,000 物質（現行化管法対象物質 435 物質、現行化管法対象物質外約 2,500 物質）を抽出した。このうち現行化管法対象物質外約 2,500 物質については、暴露情報の更新により、新たに判断基準に合致すると考えられる物質として以下のものが挙げられ、これら 883 物質について、追加候補物質として検討を進めている。

- 製造・輸入量が 1 トン/年以上 846 物質
- 製造・輸入量 1 トン/年未満または不明だが、エコ調査等で検出 37 物質

なお、環境中での存在形態が以下の場合には、化管法対象物質の候補から削除している。

- 環境中で存在し得ない物質
- 環境中で不安定で継続的な存在が期待できない物質
- 天然に存在する物質
- 環境中（特に水中）で速やかな解離、加水分解、直接光分解等により有害性の低い生成物を生じる物質

### 2-3. 今後の予定

引き続き暴露情報を整理することにより、883 物質の詳細を固めるとともに、有害性情報をあわせて収集・整理し、追加候補物質の絞込みを行う予定。